

V



山田ズーニーさんとワークショップ 【伝わる・揺さぶる! 文章を書く】

講師

文章表現・コミュニケーション
インストラクター

山田ズーニー Zoonie Yamada

講師プロフィール

1961年岡山県生まれ。1984年ベネッセコーポレーション入社後、進研ゼミ小論文編集長として高校生の「考える力・書く力」の育成に尽力する。2000年独立後、糸井重里氏「ほぼ日刊イトイ新聞」にて「おとなの小論文教室。」を連載。2005年NHK教育テレビ「日本語なるほど塾」講師。フリーランスとして執筆・講演活動のほか、全国各地の高校や地方自治体での表現力育成ワークショップ、慶應大学・九州大学をはじめとする大学でのライティング技法・プレゼンテーション技法等の講義、グリコ・リクルートほか多数企業でのビジネスライティングやコミュニケーション研修等を通して、文章表現力・思考力・コミュニケーション力の育成に取り組んでいる。日経ビジネスオンラインにて「フレッシュマンのためのコミュニケーション講座」連載中。

●主な著書

『伝わる・揺さぶる! 文章を書く』(PHP新書)、『理解という名の愛がほしい』(河出書房新社)、『あなたの話はなぜ「通じない」のか』(ちくま文庫)、『話すチカラをつくる本』(三笠書房)、『おとなの小論文教室。』(河出文庫)

各回の流れ

ワークショップ形式で進めます。第1回～第3回は、講義終了後、各自で【文章作成】を行います(30分～1時間程度)。第4回・第6回は講評会・発表会が中心となります。
*PCの持ち込みは自由です。(貸出は行っていません)

講座概要

あなたには書く力がある。

いまのあなたにしか書けないことがある。

あなたが書くものを待つ人がいる。

この講座では、あなたの「文章力」を引き出し、生かします!

書くことは考えることです。考える方法がわかれば、文章力は飛躍的に進歩します。自己表現から、相手に伝わる文章へ、ひいては、仕事や社会に通じる・状況を切り拓く文章まで、さまざまな文章を書いてもらいます。自分の思いを、自分の言葉で、納得感をもって文章に書き表せる喜び、それが相手に伝わる喜びを、体験してみませんか。

山田ズーニー

第1回

10/31(土)

13:00～17:00

まず自分と通じる

文章を書くために欠かせない7つの基礎要件をつかみ、ワークショップで「考える方法」を楽しく体得します。自分に問いかけ、自分と交信し、自分の心の奥底にある言いたいことをひっぱり出すこと、これが「考える」ことです。考える方法がわかれば、必ず文章は書けるようになります。

【ワークショップ1】考える方法をつかむ

【文章作成1】自分について書く(講義終了後作成)

第2回

11/7(土)

13:00～17:00

相手に伝わる文章を書く

言いたいことを言っても、伝えたいことは伝わりません。伝えるためには、相手を知り、相手側から見て、伝える手続きを組んでいくことが大切です。1人の相手を設定し、相手の思い、相手と自分の関係性、相手から見た自分をとらえ、伝えたいことを確実に相手に伝えるトレーニングを行います。

【ワークショップ2】相手との関係を発見する

【文章作成2】相手に伝わる文章を書く(講義終了後作成)

第3回

11/14(土)

13:00～17:00

外・他者・社会に通じる

仕事の文章やインターネットのブログなど、私たちは不特定多数の読み手、つまり「マス」に向けて文章を書くことがあります。どうすれば、ひらかれた外に向けて、通じる・説得力ある文章が書けるのでしょうか。自分の意見を論理的に構築する方法を楽しく実践します。

【ワークショップ3】考えを構築する

【文章作成3】説得力ある文章を書く(講義終了後作成)

お勧めしたい方

- 文章力を伸ばしたい、鍛えたい方
- 文章表現を通して、自己表現・プレゼンテーションの力を高めたい方
- 「書くこと」を通じて自分自身と向き合い、自己理解を深めたい方

講座の特徴

「感じる・考える・伝える」体験

書く前提となる「感じる」「考える」こと、そして、書く喜びである「伝える」ことを、ワークショップ形式で体験します。参加者全員で交流し、それぞれの個性が響きあうことで、自分の文章力を発見することができます。

「自分らしい」文章表現力を引き出す

20年以上にわたって幅広い世代へ文章表現指導を行い、「言葉の産婆」と称されるズーニーさんが、本当に言いたいことを発見し、言葉で表現する手助けをします。画一的、パターン化された書き方を押しつけることはありません。それぞれの「自分らしい」文章力が開花します。

講座終了後は、よりコミュニケーションに積極的で、言葉に実感がこもり、まわりの人と通じ合えるあなたを発見するでしょう！

開催概要

日程 2009年10/31、11/7、11/14、
11/21、11/28、2010年1/9
(すべて土曜日)

回数 6回

時間 13:00～17:00 (4時間)

※第1回～第3回は講義終了後に文章を作成します
(30分～1時間程度)。

定員 24名

会場 慶應丸の内シティキャンパス

参加費 105,000円(税込)

第4回
11/21(土)

13:00～17:00

自分の文章力を
発見する

これまでの3回で、「何を書くか」を発見し、思考を練り、書くことを繰り返してきました。ここで、自分の文章をふり返り、「いかに書くか」というブラッシュアップの方針をつかみます。これまでに書いた文章の講評会を行い、多様な文章に触れながら、自分の立場、自分自身の文章の魅力を発見します。

【講評会】 これまでに書いた作品の講評

第5回
11/28(土)

13:00～17:00

書きたいものを
発見する

あなたの中には、今のあなたにしか書けない、書くべき主題が必ず眠っています。それを文章にしたとき、飲む人が必ずいます。いかに、自分の中にある「メイン・テーマ」を発見するか。仕事で、プライベートで、文章を書くときに欠かせない「伝えたいものを発見する方法」を獲得します。

【ワークショップ4】 メイン・テーマを発見する

【文章作成4】 卒業課題執筆

第6回
1/9(土)

13:00～

通じ合う力

自分が心から本当に書きたかったことが書け、かつ、それが読み手の心を打ち、揺さぶり、望んでいた結果を切り拓けるような文章とは、どんな文章でしょうか？その答えがここにあります。参加者全員の作品発表会を通して、自分の言葉で表現し、通じ合う喜びを体感します。(終了時刻は発表会が終了次第となります。)

【発表会】 卒業課題の発表・講評・相互批評